

## 新たな百年に向かう新庁舎 ―タフで親しみやすい百年<sup>ちょう</sup>廳舎―

檜枝岐村役場新庁舎は、豊かで美しい当村の風土にマッチしたコンパクトで堅牢な建物形状とし、次の百年までもこの地に根差す庁舎をコンセプトとしました。

庁舎正面には、当村の開村者とされる治部右エ門、勘右エ門、勘佐エ門の墓印として、当村集落部にあるカラ松（枯死）、桂、黒檜を模したデザインが描かれており、村長室の壁板は当村より産出した桂の無垢板が使用されているなど、開村者の墓印を統一的な視点としております。また、庁舎は内外の二重断熱仕様で、夏は檜枝岐川の冷涼な風を床下空間に取り込み、冬は温水を利用した輻射式暖房により、四季を通し快適な室内環境と CO2 排出削減を目指しました。事務室は集約してワンストップサービスを図り、村民の方々に利用しやすいものとし、災害時には 2 階フロア全室が避難施設として利用でき、集約された 1 階事務室で迅速な災害対応を行える災害拠点としての機能に重点を置きました。



### 【施設概要】

所在地	南会津郡檜枝岐村字下ノ原 880 番地
構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造二階建て
屋根	フッ素塗装ガルバリウム鋼板
延床面積	1069.06 m <sup>2</sup>
工期	平成 30 年 9 月 25 日～令和 3 年 3 月 15 日

## 【1階】

### 正面玄関

村産のセンの木に、第8代村長の揮毫により作成した看板



### ホール



吹き抜け構造で広々とした空間

入口右側にスロープがあり、車椅子やベビーカーでの入館がしやすい

### 小会議室



個別相談などが可能な会議室

### 休憩スペース



待合や新聞の閲覧等のスペース

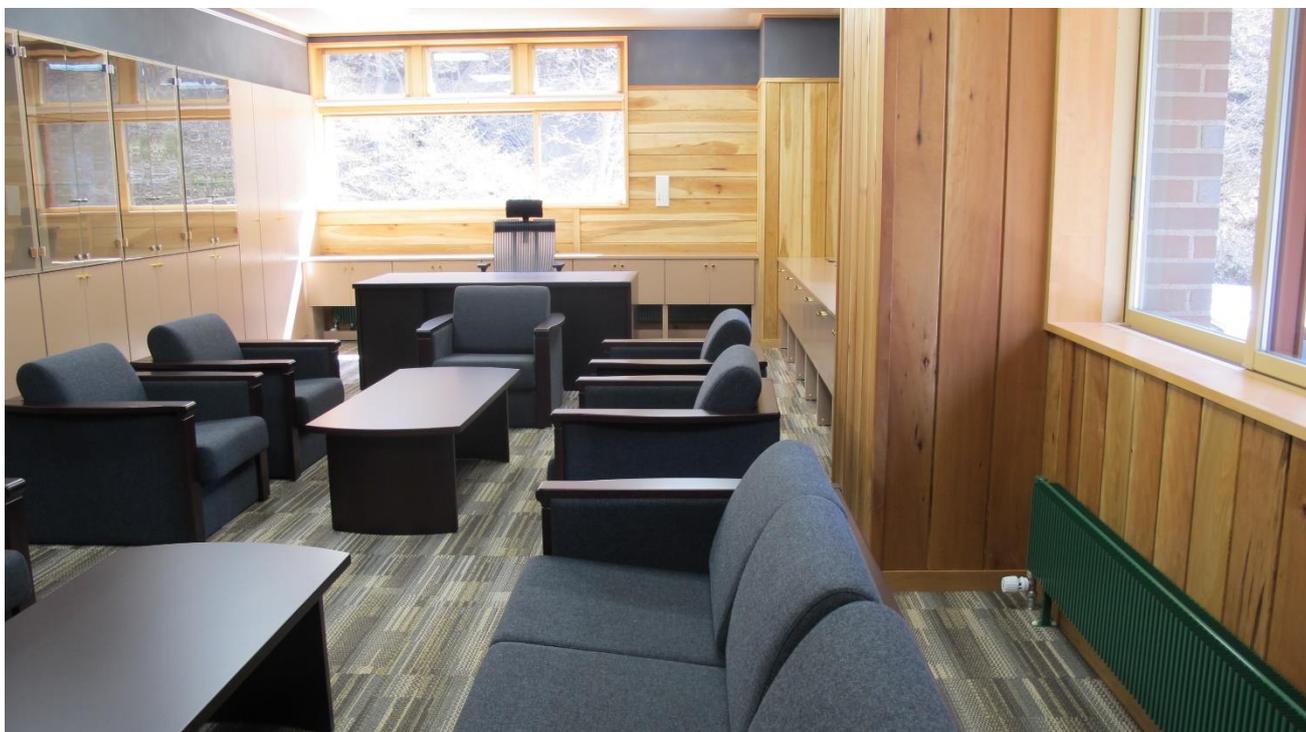
## 事務室



村民が利用しやすいよう庁舎内の全課を集約し、ワンストップサービスでの行政サービスを提供

カウンターの天板は、村産のシナの木と枺を加工しており、重厚感と温もりのある印象

## 村長室



村産の桂の無垢板を壁板とした村長室

## こだわり①

トイレのサインには檜枝岐歌舞伎のシルエットを、室内には歌舞伎の隈取をモザイクタイルにし、オブジェとしている



## 小、中会議室（3室）



各種団体の会合や講習会等に活用できる場所として設置  
10名程度の会合であれば、小会議室の利用が可能  
いずれも災害時には、避難場所として活用

## 大会議室（議場として利用する場合のレイアウト）



議場としても利用する大会議室  
災害時には避難場所として活用

### 【こだわり②】

村の四季をイメージした豊かで厳しい自然環境を焼物で表現し、ホールの内壁に設置  
焼物の中心は村の桂を使用

春



夏



秋



冬

